

# 六つの華だより

糸魚川市立磯部小学校  
平成31年1月25日(金)No.12  
E-mail isobesho@itoigawa.ne.jp  
URL <http://www.itoigawa.ed.jp/isobesho/otayori/>



教育目標 学び続ける子 互いに認め合う子 健やかに育つ子

## 磯部小 51年目は、地域と協働

～地域とともにある学校を目指して～

校長 西條 敏一



保護者、地域の皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。昨年は創立50周年記念という大きな節目の年でした。今年、51年目であり、新たなスタートとして大切な年であります。ここに「地域と協働」を大きな柱として進めていくことをお伝えしたいと思っています。

10年後、糸魚川市の中学生は、現在より200人ほど減る予定です。また、平成30年度の新児数は200人程度です。このままでは、市都消滅の事態になるかもしれません。これからの予測困難な時代に小学校はもちろん教育の現場は子どもたちにどんな力を身につけていくべきか真剣に考えなければなりません。子どもがどんどん減る一方です。この現実からは逃れられません。無くなっていくものもあります。子どもだけで行くことに限界もあります。しかし、地域にある教育資源（人、もの、こと）は豊富であり、脈々とその文化は続いています。これを学校教育で深化、統合し、子どもたちの学びを紡ぐことが大事です。

現在、糸魚川市は、「産学官連携」に取り組み、若年人口の流出を抑え、定着を図り、なおかつ他地域から人が集うような魅力的な「まちづくり」を目指しています。教育分野では「地域と協働」で子どもを育てようとする「0歳から18歳までの子ども一貫教育」を進めており、キャリア教育を重要な学習と位置づけています。

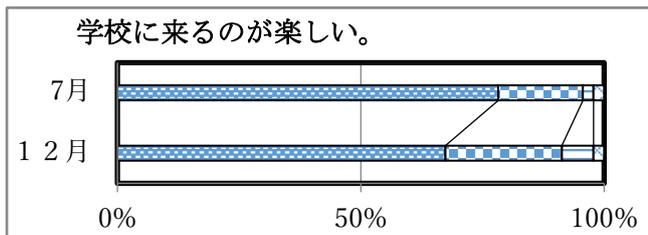
正にこの教育が、「地域とともにある学校づくり」なのです。地域の活性化と学校の活性化は一体であり、ともに目指すべき目標は同じであると思っています。地域の魅力を知り、地域の魅力を残し、学校と地域が一緒になってその魅力を楽しむ。学校にどんどん地域の方が入り、参加、参画してもらおう。子どもたちがどんどん地域の中に入り、地域の行事に出て、地域を動かしていく。そんな関係を模索しています。そのための学校運営協議会でもあります。具体的な活動についても関係各位からアイデアをいただければ幸いです。

始業式では、各学年の代表の子が新年の誓いを発表しました。主に学習のことで、「算数がんばる。」「漢字が書けるようになりたい。」「縄跳びのあや跳びができるようになりたい。」「書き初めで賞を取れるように上手に書きたい。」など、様々でした。さらに6年生からは、「一日一日を大切に過ごしたい。」という言葉もありました。中学校というステージに上がる前の大切な時期であることをしっかりと自覚していることに感心しました。短い3学期、「1月はいく」「2月はにげる」「3月はさる」というほどあっという間に過ぎていくことを子どもたちに伝えました。充実した日々を期待しています。

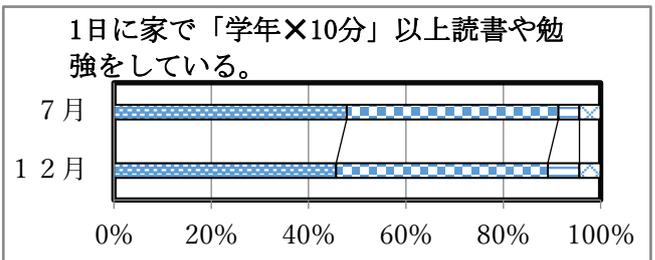
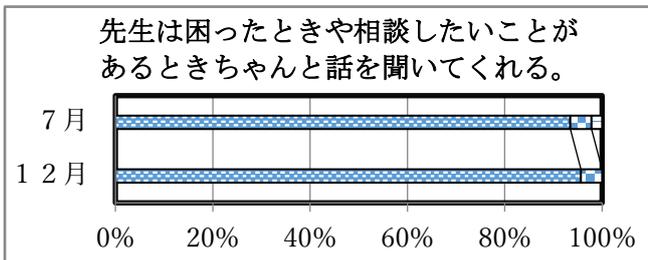
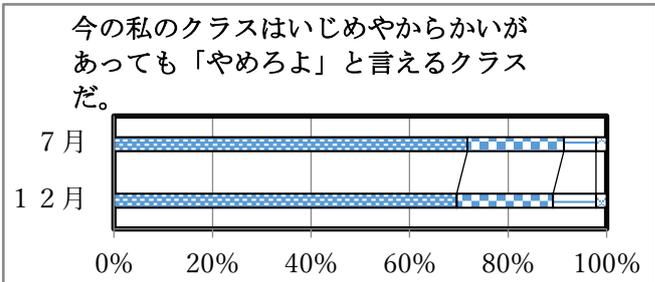
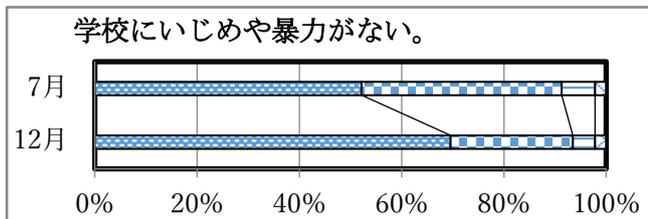
保護者、地域の皆様には、昨年同様、子どもたちの安全安心な登下校、授業等におけるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 学校評価アンケートの結果から

12月に全校児童46名に自らの姿を振り返ってもらいました。また、保護者の皆様そして学校運営協議会委員や民生委員、児童委員の皆様からもアンケートにご協力をいただきました。ありがとうございました。まず、糸魚川市内の小・中学校が共通で評価する5項目については、次のような結果でした。



\* グラフは、左から「はっきりハイ」「だいたいハイ」「少しイエ」「はっきりイエ」です。上段は7月、下段は12月のアンケート結果の数値をグラフ化したものです。



1学期と比べて肯定の評価が上がったものもありますが、下がったものもあります。実施後、アンケートを基に学級担任は、児童一人ずつと面談を行い、2学期の成果や課題について話し合いました。学力向上への取組やいじめ見逃しゼロなどの課題はこれからも継続的に着実に取り組んでいかなければなりません。子どもたちが、学校は楽しいところ、学ぶことは楽しいことを感じて、家庭学習への意欲も向上するよう取り組んでいきます。どうぞ、今後とも保護者・地域の皆様のご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

### 【3学期の取組】

### ◇確かな学び◇

グラウンドデザインで示している評価項目は、どれも目標数値を上回りました。2学期は、自分の意見を相手に伝えるとともに相手の考えをきちんと受け止め、自分の考えを練り上げていく力の育成に力を入れてきました。自分の考えをまとめ、伝えることができるようになってきた児童が多くなりました。課題は、話し合い活動で自分の考えを練り上げるための相互コミュニケーションを意識した聞く態度と伝え方です。

**★3学期は2学期の取組を継続、発展させていきます。**

○ペア学習やグループ学習を充実させ授業を行っていきます。

学年の発達段階に応じて「自分の意見を言い、理由や根拠を話す」そして、「友達の意見に対して必ず反応を返してから、自分の意見を同様に述べる」このようなやり取りをつなげていきます。そのためにも、相手の話をしっかりと聞き、受け止める態度を育成します。

### ◇豊かな心・健やかな体◇

グラウンドデザインで示している評価項目は、概ね目標数値を上回りました。課題は、「あいさつ」「言葉づかい」「メディアとの接触時間」の3つです。どれも学校だけでの解決は難しいです。ぜひ、家庭、地域、学校が連携して取り組んでいけますよう、ご理解、ご協力をお願いします。

**★3学期は2学期の取組を継続し、次のことを児童と再確認し取り組んでいきます。**

○どこでも気持ちのよい、相手を意識したあいさつをします。

○公の場（授業や清掃活動、縦割り班活動など）では、「さん」づけをします。

○メディア2時間以内を目指し、家庭のルールを決めて取り組みます。

### 【保護者・地域の皆様からの自由記述より】

※（保）→保護者、（地）→学校運営協議会委員、民生委員、児童委員

### ◇子どもたちの姿から見られた成果

- ・地域のことに興味をもち、知ろうとする姿があった。学んだことを家でもたくさん話してくれた。（保）
- ・地域の方に様々な経験をさせてもらったことで、できる、できた喜びを目を輝かせて話してくれた。（保）
- ・自分たちでふるさとのことを調べ、親子、地域の人たちと話して交流ができています。（保）
- ・文化祭で風光明媚な箇所を写真入りで紹介していて磯部愛を感じた。小学生目線の素敵な風景等を磯部小が発信地になってほしい。ジオパーク学習交流会での「磯部のはてまで行ってQ」はその響きだけでわくわく感と学習の楽しさまで伝わってきた。求める子どもの姿は達成されていると思う。（地）

「ふるさと磯部を愛する子」「自ら学び、表現し、考えを深める子」の実現を目指して教育活動に取り組んできました。生活科や総合的な学習の時間を軸とした教育活動の充実が子どもたちの姿に成果として見られた結果だと考えられます。

### ◇子どもたちの課題

- ・あいさつ（保） ・規則正しい生活を送るためのメディアとのかかわり方や接する時間（保）（地）
- ・小学校の基礎ができていないと、中学、高校、大学、社会への階段を踏み外してしまうので学びに力を入れてほしい。（地）
- ・何事に対しても積極的な面が弱いと感じる。例えば、学習中の声が小さい。（地）
- ・毎朝のあいさつに覇気がない。あいさつができる子どもたちは地域の活力になるし、地域が活性化すると思う。（地）
- ・話を聞くときの態度、様子が気になる。話を聞くということは、耳で聞くだけでなく、話す人の表情や動きなどを見て、何が重要なのか目でも確認することである。（地）

大きな課題は「あいさつ」と「メディアとのかかわり方」です。また「自ら学び、表現し、考えを深める子」の実現を目指して、「聞く、話す」についても取り組んでいきます。

### ◇学校行事・PTAにかかわって

- ・どの行事も大成功ですばらしかった。(保)                      ・今の形がベスト(地)
- ・マラソン大会で保護者や地域の方の応援に温かいものを感じた。(地)
- ・金管はいつまでやるのか。(保)
- ・学校に合わせて、役員負担が大きくならないようにPTA役員の構成や規約についての見直しが必要。(保)
- ・学年・学級行事は、何学年は何をするということを決めておいた方が役員の負担が減る。(保)
- ・小さい学校だからこそ、地域とPTAで支える姿勢が大切。まずは行事への参画、協力から。全保護者が協働、共助の意識をもってほしい。(保)

学校行事については、温かい言葉を多くいただきました。来年度も、磯部小学校らしさを一番に、各行事の計画をしていきます。また、PTA活動については、世帯数の減少に伴い現在見直しを行っています。3月のPTA総会での協議事項になります。ご参加ください。金管については、4月のPTA総会でもお話ししましたが、児童数、指導者の減少や楽器の老朽化もあり、来年度までの活動となります。

### ◇地域との連携にかかわって

- ・今以上に連携が必要(保)                      ・地域の方が協力できる物は力を貸してもらう。(保)
- ・学校と地域との関係が良好になった。(保)
- ・学校運営協議会を立ち上げて、地域密着型の授業なり、活動なり成果を上げていると感じた。(地)
- ・地域のみなさん、区長さんはじめすべての方が磯部小学校の子どもたちが大好きで協力してあげようという機運が広がっているように感じる。学校行事も参加したり見学に行ったりすると子どもたちの成長がすばらしいと感じる。(地)

地域との連携は、子どもたちの教育活動や学校行事の充実のためにも、これまで以上に深めていかなければなりません。子どもたちを真ん中にして、子どもたちの成長のために学校・家庭・地域が連携していきましょう。

## 2月の主な行事予定



- 1(金) 委員会活動
- 4(月) 豆まき集会(ロング)
- 6(水) 全校朝会
- 7(木) 中学校入学説明会
- 8(金) スキー教室
- 11(月) 建国記念の日
- 13(水) 学校運営協議会  
なかよしロング(1・2年)

- 15(金) 委員会活動  
スキー教室予備日
- 20(水) 発表朝会  
金管移杖式  
5年親子活動・6年親子活動
- 21(木) 移行学級
- 22(金) 委員会活動(4年生見学)
- 27(金) 大縄とび大会(ロング)